

阿波人形浄瑠璃芝居公演

中村園太夫座（岡花座）

平成27年1月25日（日）

開場／12時30分 開演／13時

夢ホール・阿南市文化会館

入場料／200円（高校生以下無料）

阿南市富岡町西池田1-3-5-1 電話0884-21-0808

チケット
平惣書店
コスモホール／阿南市民会館／阿南市文化会館
無料託児サービス
1週間前まで予約電話0884-23-5599
主催／阿南市 共催／阿南市文化会館
運営協力／NPO法人夢ホール市民協議会
お問い合わせ／夢ホール 阿南市文化会館 電話0884-21-0808

人形浄瑠璃を楽しむために

◎内容が理解しやすい字幕
(字幕協力:NPO法人文字情報支援ひこばえ)

◎現代仮名遣い床本無料配布

しきさんばんそう
式三番叟

五穀豊穢、家内安全を祈願する縁起物。舞台の安全を祈念し演じられます。

けいせいわのむら（けいしんじき）じめいわいのうのだん

傾城阿波の鳴門（伝承）順礼歌の段

太夫／久次米三枝子 三味線／鶴澤友丸 人形／新野中学校民芸部

溢まれた名刀を求め、大阪に住む十郎兵衛とお弓。ある日、ただ一人で西國順礼する少女を家に招き入れたところ、阿波の祖母に預けてきたわが子お鶴であることを知ります。事情あって名乗りをせずに別れます。思いを断ち切れずに駆けだすお弓でした。

えびすまい

恵比寿舞

七福神の中のひとり・えびす様。釣り竿を下げて、ご当地の名物や、はやり物などを釣り上げます。最後にはタイを釣って「めでたいめでたい」と新年を表します。

えほんたいこうじ ジョウジのあまがさきのだん

絵本太功記 十段目尼崎の段

太夫／宮崎照美 三味線／鶴澤友丸
豊臣秀吉の「太閤記」を劇化したものの、主君を裏切ったことに腹を立てた武官光秀の母、早月は尼崎の廟に一人暮らしをしました。そこへ孫の十次郎、姫路の初菊、嫁の操、光秀を追って旅宿に泊った久吉らが現れます。前半は初々しい十次郎と初菊の祝言、後半は主従の義理や正義、親子の情を胸に秘めた光秀の号泣が胸を打ちます。

ゲスト
中村雅博（テノール）



荒城の月・宵待ち草
見上げてごらん夜の星を

ほか

京都市生まれ、大阪音楽大学音楽学部卒業。在学中に東映俳優養成所で俳優としての研鑽を積み、数々のオペラに出演。希望に充ちた歌声と深みのある演技で観客を魅了。また自作によるコンサートやワークショップを行い、多くの楽迷らしさと音楽の温かさを伝えようと全国を飛び回っている。第21回NHK古典コンクール「声楽部門」第1位及びテノール特別賞受賞。ほか多数受賞。関西二用団、京都音楽クラブ各会員、芸術家グループVERITA主宰。京都四条通源氏歌謡、指揮者及びボイストレーナー。

太夫・三昧線・城北会

獨立城北高校民芸部のOBが集まり、昭和5年に城北座を発足。平成14年には、太夫、三昧線、人形の3種類が揃う座となった。民芸部OBで元文楽協会会員、木偶商を主宰する勘定氏と、その孫女で育った園田喜・吉田喜助兩人に人形の技術を授けられ、その技術で育った人形が、現在の太夫・三昧線・人間国宝・鶴澤友郎の座に継承されています。また、文楽人形師の大庭千弘先生の指導でさらなる制作に着手したほか、浪曲の太夫・三昧線・人間国宝・鶴澤友郎の座に上場する機会を得ています。